

土木建築委員会会議記録

土木建築委員長 濱田 洋

1 日 時

令和2年6月3日（水） 午後 0時40分から
午後 1時05分まで

2 場 所

第1委員会室

3 出席した委員の氏名

濱田洋、阿部長夫、森誠一、原田孝司、尾島保彦、戸高賢史

4 欠席した委員の氏名

高橋肇

5 出席した委員外議員の氏名

なし

6 出席した執行部関係者の職・氏名

土木建築部長 湯地三子弘 ほか関係者

7 会議に付した事件の件名

別紙次第のとおり

8 会議の概要及び結果

- (1) 第64号議案のうち本委員会関係部分については、可決すべきものと全会一致をもって決定した。
- (2) 令和元年度予算の繰越しについて執行部から報告を受けた。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策に係る要望について協議を行った。
- (4) 県内所管事務調査の日程について協議を行った。

9 その他必要な事項

なし

10 担当書記

議事課議事調整班	主任	阿南絵理
政策調査課調査広報班	主事	佐藤千種

土木建築委員会次第

日時：令和2年6月3日（水）本会議休憩中
場所：第1委員会室

1 開 会

2 土木建築部関係

- (1) 付託案件の審査
第64号議案 令和2年度大分県一般会計補正予算（第2号）（本委員会関係部分）
- (2) 諸般の報告
 - ①令和元年度予算の繰越しについて
- (3) その他

3 協議事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策に係る要望について
- (2) 県内所管事務調査について
- (3) その他

4 閉 会

会議の概要及び結果

濱田委員長 ただいまから土木建築委員会を開きます。なお、本日は、高橋委員が欠席しています。

本日審査いただく案件は、今回付託を受けた議案1件です。

これより審査に入ります。

第64号議案令和2年度大分県一般会計補正予算（第2号）のうち、本委員会関係部分について、執行部の説明を求めます。

湯地土木建築部長 説明の前に一言お礼を申し上げます。濱田委員長をはじめ、委員の皆さま方には去る5月14日から5月27日までの間、管内事務及び重点事業について調査いただき、この場をお借りしてお礼を申し上げます。各事務所で御指導、御助言いただいた件については、今後の土木建築行政にいかしていきます。なお、当初は本日に予定していた大分、別府両事務所の調査については、今日の委員会でご協議いただけると伺っています。御足労をおかけしますが、どうぞよろしくお願ひします。

次に、新型コロナウイルス感染症の影響についてです。現在のところ、県内ではこの件に関する工事中止は発生していません。引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を徹底しつつ、公共工事の早期執行に取り組みながら、経済回復に向けた取組を進めて行きます。

間もなく梅雨を迎えます。6月は土砂災害防止月間です。各地域の防災センターとして、危機管理意識を高く持ち、被害を最小限に抑えるため職員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。今回の補正予算では、土木建築部の関係予算はさほど多くありませんが、御審議のほどお願ひ申し上げます。

それでは、第64号議案令和2年度大分県一般会計補正予算（第2号）のうち、土木建築部関係の総括的な内容について御説明します。

お手元の土木建築委員会資料の1ページをお開きください。令和2年度6月補正予算説明資

料（土木建築部）です。

まず、今回の土木建築部に係る補正予算額ですが、1の補正予算額の表の中ほど、内訳の土木建築部の欄に記載のとおり、一般会計について、土木費で2億1,552万9千円の増額をお願ひするものです。

次にその下の表の2の土木建築部の令和2年度予算額の区分欄、一般会計の上から7行目の、計の欄を御覧ください。

既決予算額1,069億7,582万2千円に、その右の今回の補正予算額2億1,552万9千円を増額すると、さらにその右の計の欄にあるとおり、補正後の土木建築部の一般会計の歳出予算総額は、1,071億9,135万1千円となります。

さらにその下の内訳を御覧ください。土木費の補正予算額については、内訳の一番下の行にあるとおり、全額、非公共事業です。

続いて、3の補正事業の内容を御覧ください。

今回の補正予算について、一つ目は新型コロナウイルス感染症拡大の収束後の観光誘客に備え、来県者に安全で快適な道路環境を提供するため、本県の玄関口である大分空港道路の道路情報板の改修に要する経費として、1億2千万円をお願ひするものです。

二つ目は、県営住宅の空き住戸等の有効活用を推進するため、浴槽・給湯設備の設置などの改修工事を前倒して行う経費として、9,552万9千円をお願ひするものです。なお、改修した住戸については、新型コロナウイルス感染症の影響で、住宅の確保が困難になった方への支援にも活用します。

以上で、第64号議案令和2年度大分県一般会計補正予算（第2号）の説明を終わります。

濱田委員長 以上で説明は終わりました。これより質疑に入ります。質疑、御意見があればお願ひします。

原田委員 ちょっと言葉の意味が分からないん

ですが、県営住宅ストックってどういう意味ですか。普通ストックと言うと、必要な物がなくなったときのためにあえて用意しておくという意味で私たちはふだん使うけれども、これは空き部屋という意味ですか。

大野公営住宅室長 委員のおっしゃるとおり、空き部屋のことです。空き部屋を有効的に使って、より入居しやすくするという事業です。

原田委員 例えば災害があったときに、仮設住宅を建てる前に緊急的に使えるようにストックという意味ではないんですね。

大野公営住宅室長 例えば日田の水害や県南の台風被害のような災害のときに、緊急に被災者に住んでいただくといった活用の仕方もしています。

原田委員 今の空き部屋率と、数はどれくらいあるか教えてください。

大野公営住宅室長 今現在、空き部屋率は約13%、戸数は1,100戸ほどです。

原田委員 これは個人的なことなんですけど、家のリフォームをしていたんですよね。1月に申し込んで、出来上がったのがやっと最近で、何が遅れたかというのと、とにかく中国からの部品が供給されずに台所の関係ができなかったんです。うちの母も今リフォームしていますが、浴槽関係、給湯器関係の部品が全く入らなくていまだにできてないんです。県下全体の業者で、部品が供給されないがためになかなか工事が進まないところ、支障を来しているところが現状としてあるんでしょうか。

大野公営住宅室長 今委員がおっしゃったようなことを我々も危惧していて、この計画を立てる際に関連業者に確認したところ、我々が想定している浴槽、給湯器については大丈夫と聞いています。（「結構です」と言う者あり）

戸高委員 では、その一つ上なんですけど、これは新設はあるんですか。それとも全部既存のもの入替えなんですか。

藤崎道路保全課長 道路表示板の改修の件についてです。空港道路関連で、今既設で14基の道路表示板があります。その中で具体的には空港側の213号と、日出町側の213号の1か

所ずつ、それと相原パーキングの先の、日出ジャンクションとの分岐のところの一つ、14か所のうちのこの3か所を改修するものです。新設ではなく改修です。

戸高委員 一基当たり、結構高いんですね。

藤崎道路保全課長 1か所当たり約3千万円で計算しています。先日現地視察もしていただいた中津日田道路、耶馬溪道路で道路表示板の設置をしていますが、その金額を参考にしています。それに加えて、杵築にある空港道路の管理事務所の装置——ソフトですね、これも改修しなければならないので、それも合わせて今回1億2千万円で提案しています。

戸高委員 さきほど部長からもあったように、委員会で各事務所の現場を若干ですが見て、進捗も予定どおりで、コロナ対策もしながら細心の注意を払っているとよくわかったんですが、現実には、コロナの発生の後に国の工事については国交省から2週間の停止とか、そういった通達が出ていたかと思うんです。県内の国関連の工事ですね、それにも影響は出ていないですか。

特に設計とか測量とか、コンサル系はオンラインでやったりがあると思いますが、実際工事現場においてはストップしたがゆえに人員の確保ができなくなるから、そのために工事は続けざるを得ないとか、そういう状況じゃないのかなと心配になったんで。現場の状況でそういう声があれば教えてください。

島津建設政策課長 1点目の国土交通省関係の工事の影響についてです。国土交通省関係の工事についても、県内で中止になっている事案はありません。

2点目の人員確保のために続けざるを得ない状況がないか、という件についてですが、県内では1件だけ、姫島村の来島自粛要請を受けて中止していた事案がありましたが、6月1日付けで中止は解除されています。全ての工事において、継続することができているので特に大きな影響を受けていることはありません。

濱田委員長 ほかに何かありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

濱田委員長 ほかに御意見もないようですので、第64号議案について採決します。

本案のうち、本委員会関係部分については原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

濱田委員長 御異議がないので、本案のうち本委員会関係部分については原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で、付託案件の審査を終わります。

次に、執行部より報告をしたい旨の申出があったのでこれを許します。それでは①の報告をお願いします。

渡辺土木建築企画課長 令和元年度予算の繰越しについて御報告します。

土木建築委員会資料の2ページをお開きください。

令和元年度から2年度への繰越しについては、繰越限度額を令和元年第3回定例会、並びに令和2年第1回定例会で御承認をいただいています。その限度額については、一般会計と特別会計を合わせて、表の右下、太枠で囲んでいるところですが、499億2,946万9千円となっており、前年度に比べ、約69億円の増となっています。これは、一般会計と特別会計を合わせた令和元年度の最終予算が、国の補正予算を積極的に受け込んだことなどによって、平成30年度最終予算と比べると、約123億円の大増額となったことが大きな要因です。確定額については、その下にあるとおり、378億1,523万8千円となっており、限度額に占める確定額の割合は75.7%となっています。これは、繰越しの早期承認を活用した工事着手時期の前倒しを行うことなどで、事業の進捗を図ったものです。

今後も引き続き、施工時期の平準化を図りながら、鋭意、事業の執行に努めていきます。

濱田委員長 ただいまの報告について、御質疑、御意見などはありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

濱田委員長 ほかに御質疑もないようですので、これで諸般の報告を終わります。

委員の皆さま、この際ほかに何かありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

濱田委員長 では、私から。所管事務調査で各土木事務所を回らせていただいて、さきほど質問にもありましたけれども、非常によく工事発注もできているようですので、工事の平準化等も視野に入れながら、確実に発注ができるように指導していただくよう、お願い申し上げます。

それでは、ほかにありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

濱田委員長 これをもちまして、土木建築部関係の審査を終わります。

執行部の皆さんはお疲れさまでした。

〔土木建築部退室〕

濱田委員長 それでは、内部協議に入ります。

本日の審査結果に関する委員長報告についてです。今回、新型コロナウイルス感染症対策に係る緊急的な対応の補正予算が上程されたわけですが、これまでの議論を踏まえ、本日の審査結果報告の際に各委員長が委員会としての要望を申し添えるということです。

当委員会においては、この委員会の性質上、あまり直接的なものがないので、本会議での要望の発言は差し控えたいと考えていますが、皆さんの御意見を。

〔協議〕

濱田委員長 それでは、福祉保健とか教育とか直接に影響のある委員会ではないので、さきほどの第64号議案の報告だけにします。

次に、本日やる予定でした県内所管事務調査、大分土木事務所と別府土木事務所についてですが、この件について皆さんの御意見を。どちらにしてもせんというわけにはいかんでしょうから。

〔協議〕

濱田委員長 では6月8日、このままの行程で10時発、ということ。

〔「はい」と言う者あり〕

濱田委員長 それではこれで委員会を終わります。

す。

お疲れさまでした。